

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その3）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【ジースプレッド株式会社】

「やさしさを広げて、学校を創る」やさしさのメッセージを入れ、本体価格の5%を発展途上の学校建設資金にしてお菓子をつくり、販売しています。学校は子ども達の笑顔と希望をつくる大切な場所です。ただジースプレッドの目的は学校を創るということよりも日本にやさしさを広げることです。



【HP】 <http://g-spread.co.jp/>

SDGs	取組中			
------	-----	---	---	---

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・代表の若尾さんは、元々お菓子作りをしていたが、今ではその売上の一部を使い発展途上国のために学校などの施設を作っていて、本当にすごい人だと思った。その行動は優しさから来ていると話していたので、僕も他人に優しくなれるようにしていきたいです。

・自分にできることから一つずつ少しずつ世界中に幸せを届けることもできると知った。将来自分の力で得たお金を貧しい暮らしをする人々のために使っていきたいと思う。優しさの連鎖をどんどん繋げていける社会になればいいなと思った。また、それは決して難しいことじゃないということもよく学べた。「何もかも」はできなくとも、「何か」はきっとできる。この言葉が素敵だなと思いました。私にできることを何か見つけて、できる限りのことをやっていきたいと思いました。

・社長さんの経歴を聞いてころざし一つで現状・行動を変えられて、自分の人生さえも変えることができるのだなと思いました。また、小さな優しさは誰かの大きな幸せで誰かの多くの幸せになるのだと学びました。ジースプレッドで行なっている活動は誰かの小さな優しさが積もりに積って学校が一つ建つという、まさに「塵も積もれば山となる」というような

行動だなと思いました。

・自分達のお金で貧しい国の子供たちのためにその国に学校を建てたりする方はテレビの中でしか見たこと、聞いたことが無かったので今回直接お話を聞けてすごくいい機会になりました。自分の趣味にかけていたお金を、趣味をやめてまで、違う国の子供たちに向けられるのが単純にすごいなと思いました。今回のお話を聞いて優しさの大切さを改めて感じられまし、優しさってこんなにも広めることができるのだなと感ずることができ、驚きました。

・いろいろな所に小学校を作って、教育を受けることができなかつた子供たちに明るい未来を作っているという事が素晴らしい仕事だと思いました。また、この活動は他の人にも影響を与えているという事も素晴らしいと思います。講師の方が言うてくださった「1日100回『ありがとう』を言うよりも、1日1回『ありがとう』を言われる人生を選びたい」という言葉には考えさせられるところがありました。また、最後に見た動画がとて心に残っています。ちょっとした優しさがどんどん伝わっていき、笑顔も増えていくという動画です。この動画を見て凄く感動しました。今世界には、テロ、犯罪、自殺、差別など、心が痛くなることが起きています。毎日流れてくる犯罪のニュースは苦しくなります。ですが、ちょっとした優しさで世界を良くしたり、平和になったりするのではないかと思います。一人一人が優しくなればみんな安心でき、もっと素晴らしい世界を作っていけるのではないかと思います。だから、ジースプレッドさんの活動はもっと世界に広めていくべきだと思いました。私も世界をよりよくできる仕事をしたいです。



・若尾さんのお話を聞いて、若尾さんやその社員さんはタバコをやめてそのお金をワールド・ビジョンという取り組みに寄付するなど、些細な行動から途上国への学校建設という大きな優しさや世界の幸せへと変えていてとても温かい方だなと感じました。

・今回の講演で、若尾さんが「優しさは優しい行動をした後に感じるのではなく優しくした瞬間に感じる」というようなことを仰っていて、私も落ちているゴミを拾うとか気配りとか誰にも気づかれない些細な事からでも行動していきたいと思いました。

・自分の中の優しさを他人に広げるとともに、自分なりの行動を通して小さなことでも世界の多くの人を助ける力になると分かった。また、アルミ缶が世界の学校を建てる支援になるのであれば私の学校でも集めて、地域や国内の人々のために動けるのではないかと思った。

・誰かのために優しさを贈ることで、だんだん優しさの輪が広がっていくことがわかりました。やさしさの輪が世界中に広がれば、平和が訪れることがわかりました。学校の在り方とは、学問を学ぶことはもちろんですが、人と関わることで「挑戦してみよう」「もっと改善してみよう」と思えるようになることだと思ひます。一人では改善したくてもなかなか行動に移すことはできないけれど、誰かと一緒に行くことで勇気が出て、学校はそういうきっかけを作ってくれる施設だと思いました。

・子供を支援すると「子供が幸せになる」だけでなく「自分を幸せにする」ということを感じているという言葉がとて印象的でした。優しさをつなぐことで相手も自分も幸せな気持ちになり温かい世界になっていくのだなと思いました。私も優しさの連鎖のきっかけの人にな

れるように行動をしたいです。小さな優しさは集まれば大きな力になるということを若尾さんと支援をしている人から学びました。これからの人生において、とても有意義な時間を過ごすことができました。

・自分が思っているだけの優しさだけではなく、周りを幸せにできるような優しさが大切だと分かりました。押しつける優しさは本当の優しさではないと知って、自分の行動をもう一度見直したいと思いました。発展途上国の子どもを支援できる活動をしてみたいと思いました。

・人のために優しくするというのは、意識しないと出来なくて、それは簡単なことではないけれど、日頃から自分に出来ることを見つけて行動したいです。

・この話を聞いた中で、「”何か”はきっとできる」という想いで若尾さんが活動されている事に、僕は感銘を受けた。ワールド・ビジョンという発展途上国の子供達に寄付などができる機関がある。最初はタバコをやめての寄付だったが、それと同時にどんな状況かを知った。その事から、今は自分の製菓会社の利益の一部分を寄付していて学校や病院を建設できたりしている。この行動力と想いもそうだが、一番大切なのは「優しさ」と仰っていた。僕も、いろんな経験をしてこの「優しさ」の価値に気付いていた。だから、凄く共感できたと再確認もすることができて良かった。



・若尾さんの経験談やお話を聞いて、タバコをやめ、途上国の子供たちの支援をするという決断をして、そこから学校を建設して、人々から感謝されただけでなく恩返しをされ、この活動への協力者が出てくれるなど様々な優しさを経験した。このように優しさは希望を与えることができ、人を繋ぐことができるということを話して下さった。だから僕は、優しさで誰かを助けられるような人になりたいです。

・自分の趣味などにかけていたお金を途上国の子供達のために使おうという考えがすごいと思った。また、自分だけでやるのではなく地域の企業や学校と連携して地域全体で支援に取り組もうという話を聞き、より大きな支援のためには周りと一緒に取り組むことが大切だと思った。

・私は美濃加茂にあるジースプレッド株式会社の社長さんにお話を聞きました。海外に寄付をしている理由はタバコを辞めたお金で何か出来ることは無いかと探した結果、ワールド・ビジョンという海外へ寄付できる団体に出会ったのが始まりだったそうです。またワールド・ビジョンは社長さんに生きる意味を教えてくれたそうです。このジースプレッド株式会社は全世界に寄付をするだけでなく日本でもボランティアをしていて社長さんは優しさが広がって欲しいという思いから今まで続けて来たことがわかりました。

・貧しい子供達のために、できることを考えて行動にした行動力に感動しました。貧しい国のために学校を建てているというお話を聞いて、私にとっては、学校に通うことも、近くに学校があることも当たり前ですが、世界には学校に行くお金や時間がなく、そもそも学校がない場所がたくさんあるという現状に驚きました。子供達にとって、将来の夢を叶えるためには学校が必要で、現地の方には、学校を建ててくださる企業の存在はとても大きいのだなと感じました。

・まず、発展途上国の現状を知り、支援するために、自らたくさんの国を訪れる行動力がすごいと思った。自分がなにか一つ無駄なことを止めることで、世界の途上国を支援できるのだとわかった。発展途上国に学校をつくるだけでなく、それによって日本に優しさを広げようということは、幸せがどんどん繋がっていくとても温かい活動だと思った。人に優しくするなど良い行いをすると、自分も気持ちよくなるので、できることから実践してみようと思った。

・ジースプレッドさんは外国の学校へ行けていない子供たちへ学校を作ってあげていて、人を思いやる心と行動力がすごいと感じた。最後に誰かに親切にもらった人がまた違う人に優しさを返すという優しさが広がっていく動画を見せてもらって、心が温まった。私も優しさの連鎖の一員となれるようにたくさんの人に優しさを返していきたいし、優しさの初めの1人になれるように過ごしていきたい。また、行動力のある人になりたいです。



・若尾さんのお話を聞いて、私は、人に優しくすることの大切さを改めて知ることができました。未来のために、誰かのために、優しくすることが私たち人間の使命であると若尾さんはおっしゃっていて、そのような考え方ができる人になりたいと思えました。最後に、ビデオを見せていただきました。そのビデオでは優しさが次から次へとたくさんの人に広がっていく様子を見ることができ、自分にとっては小さな優しさでも、他の人にとってはすごく大きな優しさであったり、小さな優しさでも集まれば大きな力になったりするということがよく分かりました。これからは若尾さんの様な素敵で素敵な考え方で生きていきたいと思えました。

・ジースプレッド株式会社の若尾社長のお話の中で「志とは、己一代では成し遂げ得ぬほどの素晴らしき何かを、託す祈り」という言葉が最も心に残りました。ジースプレッドさんは、途上国の子供たちのために、お菓子の売り上げの一部を学校建設資金として使っておられて、もう何校か建てられているのに、若尾社長は若い社員の方にもご自身の志を伝えて、それを引き継いでもらおうとしていて、これこそ持続可能な社会貢献であり、優しさの連鎖なのだと感じました。私も、自分の夢を成し遂げようとするのではなく、自分の代では叶わない程の大きな夢を持ち、それを成し遂げる力の一つになることで、より深く社会に貢献したいと思いました。

・ジースプレッド株式会社さんの話を伺いました。ジースプレッドさんでは、お菓子を販売して売り上げの5%を発展途上国の学校建設資金にしています。すでに何校もの学校を建設しているそうです。「やさしさが世界をつなぎ、平和になる」この言葉を聞いて、自分のクラスも優しさがあれば、クラスとしての結束力が高まるのではないかと思いました。一学期は登校して教室に入る際、挨拶をしましたが、返してくれるのは一部の子だけでした。二学期の目標は、全員が挨拶を返してくれることなので、僕はみんなと喋ってもっと仲良くなりたいと思いました。